

大般若波羅蜜多經卷第一百八十一

三藏法師玄奘奉 詔譯

初分難信解品第三十四之一

具壽善現復白佛言世尊不勤精進未種善

根具不善根為惡知識所攝受者於佛所說

甚深般若波羅蜜 實難信解佛言善現如

熱い波紋

赤間 義徳

大般若經六百卷

いま 解縷され

方丈さまの誓願は

いま ひもとかれ

經文転読の声は

不動殿に響めく。

若彼羅蜜多寶難信解具壽善現復白佛言
如是假若彼羅蜜多云何甚深難信難解佛
言善現色非縛非解何以故以色元所有性
為色自性故受想行識非縛非解何以故以
受想行識元所有性為受想行識自性故眼
處非縛非解何以故以眼處元所有性為眼
處自性故耳鼻舌身意處非縛非解何以故
以耳鼻舌身意處元所有性為耳鼻舌身意
處自性故色處非縛非解何以故以色處元
所有性為色處自性故聲香味觸法處非縛
非解何以故以聲香味觸法處元所有性為

耳を澄ますと

その声の深いところから

鉄眼てつがん法師の誦経がひびき

はるかに玄奘法師の誦経と共鳴する。

耳を未来に転じると

二十一世紀の不動殿から

大光さまの若い誦経がひびき

横浜の一角に投げられた

誓願の熱い波紋は

青葉の空にひろがり

無数の星たちを揺らして

〈彼岸〉の岸辺を洗おうとしている。

鉄眼法師 江戸前期の僧。十年が

かりで大般若経を言む大蔵経を出版。

宝蔵国師。